



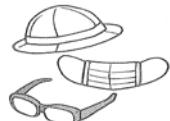
よちよち

子どもにも増えています！！

ホームページ：<http://kunitachihoikukai.jp/hidamar/>

地域情報誌
平成30年3月発行
社会福祉法人 国立保育会
きたひだまり保育園

花粉症の対策をしましょう



ついに花粉シーズンがやって来ました。子どもの花粉症も年々増えてきており、2~3歳で花粉症にかかるお子さんも珍しくなくなりました。治療しないままでいると成長とともに重症化するリスクが高く、他のアレルギーの病気にもかかりやすいと言われています。子どもは自分でうまく症状を伝えることができないので、親の観察が重要になってきますね。子どもの花粉症発症を見逃さず、早め早めの対処をしてあげましょう。



子どもの花粉症の特徴



症状の出方があいまい

くしゃみ、鼻水のような典型的な症状が出ずに、鼻をすするだけ・鼻づまりだけ・目や鼻をかゆがるだけ、など症状があいまいなことがあります。

少し粘っこい鼻水

大人の場合、花粉症の鼻水はサラサラした、水のようなものが出ますが、子どもの場合は少し粘っこい鼻水も出ることがあります。

目の症状も出やすい！

子どもの場合、目の症状も発症することが多いといわれており、かゆみで目をこする以外にも、目の充血や目の周りのむくみなどの症状が出ることもあります。



「くしゃみ」より「鼻づまり」が主な症状

子どもの場合は鼻が小さいためにつまりやすく、つまりと花粉が入ってこないので、くしゃみがあまり出ずに、鼻づまりが多い傾向にあります。



花粉への対策・対処

- ・テレビやインターネットなどで花粉飛散情報をチェックして、花粉の飛散が多い日はできるだけ子どもの外出を避けるようにしましょう。もし外に出る時は、大人と同様にマスクなどで花粉対策をしてあげましょう。
- ・室内に入ったら、必ず手洗いとうがいをし、花粉を落とすことを習慣にしましょう。
- ・乳児の場合は濡れたタオルで顔と手を拭いてあげましょう。
- ・こまめに掃除をしましょう。花粉は重いので下にたまります。背の低い子どもは家の中でも、舞い上がった花粉を吸いこんでしまいやすいので、床に花粉がたまらないように注意しましょう。

